

**2021年12月期
第3四半期決算説明
質疑応答(要旨)**

2021年11月11日 10:30-11:00

株式会社キッツ

質疑応答要旨

No.	項目	Q	A
1	事業環境(リスク)	海外からの部材や部品の調達が滞るような影響は出ているのか。	海外からの部品調達が滞るようなことは起こっていない。電動駆動部の部品に影響があったものの、複社購買を行っているため、代替となる仕入れ先から部品を確保することで、大きな問題とはならなかった。国内工場で製造していた製品の海外拠点への生産シフトを行っているが、何かあった場合には、国内工場でも生産できる、場合によっては海外の別の拠点でも同じ製品を作ることができる生産補完体制を整えているので、現在のところは問題は発生していない。
2	事業環境(リスク)	中国の電力供給規制の影響はあるのか。	中国政府から電力供給規制を受けた。2つの拠点で影響があったが、幸い、稼働日と休日を振り替える、または夜間に操業したりすることにより何とか稼働を維持することができた。現在は電力供給規制は止まっており、通常の稼働に戻っている。
3	バルブ事業(半導体製造設備向け)	キッツエスシーティーへの新工場投資により、生産能力はどれくらい上がるのか。	稼働開始は2023年の1月を予定している。現在よりも約35%の生産能力アップとなる。

No.	項目	Q	A
4	バルブ事業(価格改定)	今年、2回の価格改定を行っているが、2回目の価格改定効果は来年期待できるのか。	今年は4月と8月の2回価格改定を行った。1回目の価格改定については今期に効果が出る。2回目の価格改定も今期中にその効果を見込んでいるが、一部来期になるものがある。特定の顧客との間では納入価格の協定を行っており、こちらについては交渉に時間を要するものもある。
5	バルブ事業(価格改定)	代理店在庫の状況を改めて教えて欲しい。	代理店の在庫状況については毎月把握し、推移を見ている。価格改定に伴う駆け込みもあり、世の中の需要の動きから若干過多になることも想定していたが、それに反して代理店から先のお客様に比較的順調に納入が進んでおり、現状、代理店の在庫が過多になっているということはない。